

令和5年度行政事業レビューシート				(宮内庁)			
事業名	三の丸尚蔵館施設保存公開拡充事業			担当部局庁	宮内庁	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	長官官房用度課	参事官 朝賀 浩	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第12条第1項			関係する計画、通知等	明日の日本を支える観光ビジョン 国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について 観光ビジョン実現プログラム 革新的事業活動に関する実行計画 宮内庁三の丸尚蔵館の今後の保存・公開の在り方に関する提言		
政策	観光立国			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL							
事業の目的 (5行程度以内)	平成5年(1993)の開館以来、これまで30年に渡って皇室に伝えられてきた貴重な美術品類の保存や管理、調査等を担ってきた三の丸尚蔵館の収蔵・展示・調査修理機能の一体的整備を行うことにより、三の丸尚蔵館の所在する皇居東御苑を訪れる訪日外国人旅行者等に対して皇室の貴重な美術品類に接する機会をより充実させ、新たな観光需要の創出を目的としたものである。 なお、三の丸尚蔵館は令和5年(2023)10月1日に宮内庁から独立行政法人国立文化財機構に移管され、新たに「皇居三の丸尚蔵館」として国立文化財機構による運営がスタートすることになっている。						
現状・課題 (5行程度以内)	三の丸尚蔵館は平成5年の開館以来、通算して約740万人もの入館者数があった。令和元年には訪日外国人旅行者が約3,200万人と飛躍的に増加する中で、三の丸尚蔵館の入館者も当年は約63万人を記録するなど、入館者は当初の開館時より増加の一途をたどっている。令和5年11月には展示室が従来の約160㎡から約690㎡に拡大した新施設である第1期棟が開館するため、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に落ち込んだ訪日外国人旅行者数の回復とともに当館の入館者数にも増加が見込める。新たな観光需要の創出と皇室に受け継がれた貴重な収蔵品を展示することでより多くの人々に対して日本文化を親しんでもらい、訪日外国人旅行者を中心に拡大した新施設にて積極的な公開を実施していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	三の丸尚蔵館の収蔵品は、時代や地域的に極めて多岐にわたる絵画、彫刻、工芸等の様々な分野の貴重な作品があり、その調査研究や作品の魅力を対外的に伝えることが求められていることから、訪日外国人旅行者を含めた多くの人々に対して様々な形で入館者の増加を促すための情報発信を試みる。 また、その立地は、皇居という国内外から多くの人々が集まり、皇室を中心とする文化に関する情報を発信する拠点にふさわしい場所にあることから、より積極的な収蔵品の展示や公開をしていくことが求められている。 こうした諸課題に対応すべく、新施設建設による環境整備を行い、収蔵品を中心に公開を実施する。						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	2,939	3,935	905	269	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	960	2,900	5,662	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 2,900	▲ 5,662	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	999	1,173	6,567	269	-
執行額(G)	999	1,172	6,553				
執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	34%	30%	724%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	宮廷費			「三の丸尚蔵館の整備」経費については、これまで国際観光旅客税財源を充当。令和6年度予算は、今後の予算編成過程で検討される予定であり、皇室費の概算要求には未計上。		
	(目)	施設施工庁費	19				
	(項)	宮廷費					
	(目)	施設整備費	250				
	その他		-				

	計(A)	269	-						
活動内容① (アクティビティ)	令和5年11月の第1期棟開館以降、毎日の入館者数を集計する。また、三の丸尚蔵館におけるウェブサイトのアクセス数を伸ばすためにも内容の充実化を図るとともに、訪日外国人旅行者にも国宝を含む皇室ゆかりの名品を積極的に公開すること、多言語解説整備支援事業にて作成したパンフレットなどを作成してより多くの訪日外国人旅行者の来館を促すようにする。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	令和6年度における入館者数約637,000人の達成	入館者数(案) ※暦年	活動実績 当初見込み	人	70,544	37,165	-		637,102
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	<p>年間の入館者数は毎日の入館者数を把握することで年間を通しての最終的な人数を把握することが可能となる。</p> <p>三の丸尚蔵館におけるウェブサイトでは、これまで展覧会の開催案内を主として実施してきたところであるが、移管後は入館に必要な予約手続きのページとリンクさせるなど、コンテンツの充実化を積極的に図ることで入館者数の増加を促したい。また、観光庁における地域観光資源の多言語解説整備支援事業により外国人目線にて英訳して作成したパンフレットを館内や周辺の公共施設を通じて配布することは、訪日外国人旅行者の入館者数を促すための方策とすることができる。</p> <p>令和6年度以降は入館に事前予約制を導入しない予定であることから、同6年度の見込みは同元年に開館以来の年間最高記録であった631,296人に約1%増の約637,000人を入館者数として想定した。(コロナ禍以前における2018年の訪日外国人旅行者数は約3,120万人で2019年の同旅行者数が約3,200万人の約1%の増加であったことから、当館の入館者数も約1%増を目標として想定した)</p>							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	三の丸尚蔵館ウェブサイトへのアクセス数について(案)	三の丸尚蔵館ウェブサイトへのアクセス数について(案)	成果実績		16,561	19,909	35,134		
	前年度アクセス数を前年比1.0%以上(案)		目標値					35,661	
			達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	三の丸尚蔵館ウェブサイトにおけるアクセス数								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	<p>三の丸尚蔵館では、令和元年度から新施設の建設工事が始まり、令和8年度の全館完成まで工事が進められているところであるが、全館開館までの間(移行期間)は十全な展示ができない状況にある。このため、移行期間中も多くの方々に作品をご覧いただくべく、今まで以上に地方の博物館や美術館等に貸出しを行い、収蔵品の有効活用を図りつつ、皇室文化への国民の理解の促進、国内外への日本の美の発信等の観点から積極的な地方展開を進めているところである。</p> <p>近年、三の丸尚蔵館のウェブサイトへのアクセス数は展覧会の開催期間中に伸びる傾向にあるため、アクセス数の増加は入館者数の増加に直結するものと考えられる。</p>							
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
			成果実績						
			目標値						
			達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度	
	三の丸尚蔵館ウェブサイトへのアクセス数について(案)	三の丸尚蔵館ウェブサイトへのアクセス数について(案)	成果実績		16,561	19,909	35,134		
	最も入館者の多かった令和元年度アクセス数(35,932)の当該年比1.0%以上(案)		目標値					36,291	
			達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	三の丸尚蔵館ウェブサイトにおけるアクセス数								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

※令和4年度実績を記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

宮内庁
6,567百万円

【一般競争契約(総合評価)】

A.民間企業
5,646百万円

(三の丸尚蔵館参観者の利便性・満足度の向上を図るための新たな施設の建設工事)

【一般競争契約(総合評価)】

B.民間企業
857百万円

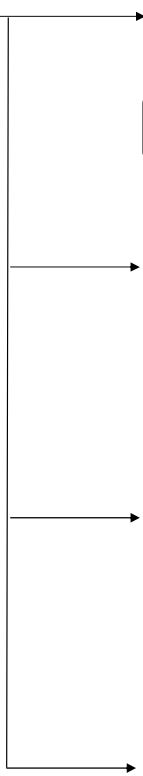
(展示ブースのデザイン、施工業務)

【随意契約(その他)】

C.民間企業
51百万円

(工事が設計図書通りに実施されているか否かを確認するための業務及び施設の設計業務)

不用額
13百万円



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	施設の建設	5,646	施設整備費	展示ブースの施工業務	857
計		5,646	計		857
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	工事管理業務	48			
庁費	施設の設計業務	3			
計		51	計		
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

